



活動報告：全国一斉里親制度啓発「One love キャンペーン」に参加しました

日本では、現在 46,000 人の子ども達が虐待やネグレクト、貧困などの理由で社会的に養護されています。そして、その約 85%が施設養育されています。奈良県にあるNPO「日本子ども支援協会」の呼びかけで、10月4日の「里親の日」に全国一斉に街頭でハートのチラシを配り、多くの方々に里親制度、子ども達の現状を知っていただく全国一斉里親制度啓発「One love キャンペーン」が実施されました。全国で 46,000 枚の配布を目標としました。

呼びかけに応じて中央地区里親会も啓発キャンペーンに参加し、10月4日の7時30分～8時30分の時間帯に江別市のJR大麻駅前と、北広島市のJR北広島駅前でチラシ（同封）の配布をしました。9月25日の役員会で参加を決めてから実施日までに、会員の皆さんにお願いする時間的な余裕がなかったため、一部の者（佐藤副会長、井上理事、中兼理事、水島事務局長、門前里親支援専門相談員）だけで配布を行いました。道行く人にチラシをなかなか受け取ってもらえず、配布数は目標に達しませんでした。社会的養護の子どもたちの状況と里親制度について、広く知ってもらおう一助になったかと考えます。



JR 北広島駅南口にて

お知らせ：「自立支援セミナー」を開催します

大人になって「自立する」ということは、「自分のことは自分で決める」ことです。そのためには精神的な自立だけでなく、生活面とりわけ経済的にも自分を律して、社会人としての責任ある行動が求められます。しかしながら、家庭において「お金の話」をする機会は少なく、特に社会保障や税金などの公的な制度については、親でも十分に理解しているとは言いがたい場面もあります。

中央地区里親会では新しい試みとして、遠からず自立を求められる中・高生を対象に「自立支援セミナー」を企画しました。その第一弾として11月27日（日）13時から札幌市のかでる2・7を会場とし、プロのファイナンシャルプランナーである須藤臣さんを招いて、「社会人になる前に知っておきたいお金の話」をしていただくことにしました。

自立を控えた子どもたちだけでなく、里親さんにたちにもぜひ聴いていただきたいと考えます。詳しい内容は同封のチラシをご覧ください。なお、参加される中・高生には会場までの旅費を里親会で援助します。参加を希望される方は、同封の参加申込書を11月23日（水）までに事務局へお送り下さい。

お知らせ：平成28年度中央地区里親会冬季研修会の開催予定

今年度の冬季研修会が、平成29年1月28日（土）～29日（日）に札幌市保養センター駒岡を会場として開催されることが決まりました。詳しい内容については追ってご案内しますが、参加のご予定を立てていただけますようお願いいたします。希望される研修内容等がありましたらお寄せください。

お願い：会報「わらび」へのご投稿をお願いします

中央地区里親会の会報である「わらび」は40号を迎えて、12月中旬に発行する予定で準備を進めています。これまでも多くの里親さん、子どもたちに原稿を寄せていただきましたが、今回もふってご投稿をお願いします。内容は自由で、手書きまたはワープロによる原稿を事務局にお送り下さい。